

【 指導コンセプト 】

子供たちの成長を長い目で見て、子ども自身に考えさせ工夫させることで、創造性・想像力を育み、将来的に「自分で考えて行動することの出来る選手」を育て、次の年代（中学、高校）で活躍できる選手の育成を目指します。

◇トレーニングの具体的な目的としては・・・

1. 基本技術の習得

⇒ボールを「運ぶ」、「止める」、「蹴る」の技術を相手（味方・敵）のいる中で発揮できる。

2. サッカーの原理・原則を理解する

⇒プレーする位置によって変化する攻撃/守備の目的を理解する。

3. こころの成長

⇒身の回り・体調の管理、最後までやりきる・やり続ける、仲間と共に戦う。

【 自分で考えることができる選手の育成にあたり 】

地域育成チームでは、『答えを伝える』という指導は、基本的に行いません。選手・保護者の皆様にもご理解頂きたいと思えます。選手自身に考えさせ、悩み、トライするということを繰り返しながら育成していきます。そのため、試合中にピッチサイドからプレーの指示や選手へ直接声をかけるなどの行為はご遠慮頂きます。がんばれやシュートが入ったときに選手と同じように喜んで頂くのは大歓迎です。選手の成長をもっとも大切に考えてのことにになります。ご理解ご協力をお願い致します。

選手に影響が出ていると感じた場合はお声掛けさせて頂く場合もありますのでご了承ください。

子供たちを勇気づけましょう。

サッカーは失敗の多いスポーツです。トライした失敗に対しては厳しく叱責するのではなく、勇気づけ、元気づけの声をかけ、積極的にプレーさせてあげましょう。

すべての子どもを応援して下さい。

自分の子どもだけでなく、同じチームである他の子供たちも応援することで、一人一人がチームの一員であるという意識を持たせてあげましょう。

フェアプレーの気持ちを育てましょう。

サッカーに限らず何事にもルール（約束事）があり、そのルールに則り行動することが大切です。スタッフ、そして保護者は口でいうだけではなく、いつでもどこでもルールを守る姿勢を見せてあげましょう。

プレーするのは子供たちです。

試合に対する勝利への意欲は子供たちにはもちろん必要なことですが、目先の勝利にこだわり、過度の期待をすることはなく、子どもの「最終的な勝利」を考え長い目で見てあげましょう。

◇地域育成チームの活動についてご不明な点がございましたら、松田までお気軽にお声掛けください。